

## 週報

国際ロータリー・テーマ

ロータリーは分かちあいの心

Vol.41 第2027回例会

2008.5.15



## 今年度会長テーマ

ロータリーは楽しさを分かちあい  
 ロータリーに楽しさを分かちあい  
 新しい仲間の輪を拓きましょう 皆さまとともに

■司会：  
高橋例会運営副委員長



■点鐘：樺澤会長

■合唱：ロータリーソング  
「日も風も星も」

◆ソングリーダー：石山会員



■お客様紹介：  
當間パスト会長



◆ゲスト：  
津久井RC 山本芳昭様  
交通少年団 山田 修様  
消防少年団 佐野光男様



## ■会長報告

樺澤会長

この5月12日に、日時次年度ガバナー補佐、町田次年度会長、河野幹事、など7人で日台親善会議に出席して参りました。この会議において、ご挨拶された日台国際扶輪親善親善会理事長林士珍様等のお話をご紹介したいと思います。

日本が統治を始めた110年前の台湾では、匪賊の横暴、阿片の吸引、コレラなどの伝染病が蔓延し、台湾には誇りとする歴史もなく、未来に希望もない状況のところ、日本は匪賊の討伐をはじめ、台湾の近代化に尽くし、台湾を縦貫する鉄道建設、築港工事など台湾の産業経済の発展、教育・医療の振興に寄与したことに対する感謝の意の表明がありました。台湾を愛した数多くの日本人の中で、八田与一さんという技師のお話がありました。この八田与一さんという方はあまりご存知な



い方が多いと思います。八田与一さんは、金沢市のご出身で、東京帝国大学の土木科を卒業後、台湾総監督府内務局の土木課に技手として就職し、当初は衛生事業に従事され、その後、発電・灌漑事業の部門に移動され、水利がなく不毛の地であった嘉南平野の灌漑工事を成し遂げられたそうです。

八田さんは、ダム、用水路建設の設計から完成まで関与され、最後は、公務員を退職されてこの事業の指揮を執られました。この事業の水路の延長距離は16,000kmに至り、灌漑面積は150,000haにも及んでおり、アジア最大のダム・用水路建設であり、世界土木界の驚嘆と賞賛を得られたようです。八田さんは、この灌漑事業の完成後、再び台湾総監督府に復帰し、フィリピンに調査に向かう途中、船が潜水艦によって沈没されて殉職され、奥様もダムの取水口に身を投じられたそうです。

台湾では、八田さんの業績を称え銅像も立てられ、命日には毎年欠かさず慰霊祭が誰とはなく行われているとのことで、特に八田さんは業績もさることながら、労働環境にも日本人、台湾人に分け隔てなく尽くされ、人柄からも尊敬の念を抱かれているようです。八田さんのダム設計は、セメントをあまり用いない粘土、砂、礫を使用したセミ・ハイドロリック工法で、ダム内に土砂がたまりにくい構造で、今から80年前にこのような設計をされ、今でも立派に機能しているということは素晴らしいことと思います。

そして、この八田さんの設計の嘉軟大州ダム、用水路を世界遺産に登録されるように運動され、日台親善会議にもご協力をお願いするとのことでした。また八田与一さんのことは教科書にも紹介されているとのことでした。話は変わりますが、先週、あるコンクリート製品の会社の部長さんと雑談をしていましたら、ここ10年来、公共事業が減少しており、公共事業の減少によって建築・土木の世界では、技術開発が停滞し始めたということを知りました。仕事が減少することにより、研究開発費が減少し、退職の年齢が下がり、また、日本の建設土木技術は世界で高い評価を得ており、優秀な留学生在が世界各国から日本に来て、卒業後も日本に残り研究をされておりましたが、最近では仕事がないと日本を後にされるようです。

長い間、公共事業という仕組みの中で、科学技術の振興が定着されて機能していたものがくずれ、改革ということは社会の仕組みを変えることに伴う手当てが必要であると思いました。

■例会日／毎週木曜日 12:30～13:30

■例会場／八坂神社 社務所

〒189-0013 東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／相羽 正 小林 学 田中 重義

■事務所／〒189-0013

東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101  
TEL 042-393-7500

## ■ 幹事報告

河野幹事

### ■ ガバナー事務所：

- ・ロータリーセンター  
年次セミナー開催の案内  
2008年6月7日(土)  
12:30～ 年次セミナー  
19:00～ 祝う会  
於 国際基督教大学



- ・対人地雷の除去に関する特別委員会の案内(引継ぎ式)  
2008年6月5日(木)  
15:00～ 会議 16:30～ 懇親会  
於 財団法人日本橋倶楽部会館

### ■ 次年度地区ロータリー財団委員：

- 次年度地区ロータリー財団委員会開催のお知らせ  
2008年5月30日(金) 14:00～16:30  
於 ガバナー事務所

### ■ 東村山市国際友好協会：

- 平成20年度東村山市国際友好協会総会の開催について  
2008年5月31日(土) 18:00～  
於 市民センター別館(1～3会議室)

### ■ 東京青梅RC：

- IM(2/19)収支報告の受理  
桑田ガバナー補佐より近況報告

### ■ ロータリー財団委員会：

- 2009～10年度ロータリー財団国際親善奨学会  
第三次選考試験のお知らせ

### ■ 住所移転：

- 比国青少年育英会バギオ基金  
〒160-0002 新宿区坂町5-2 鴨田ビル301

### ■ 回覧：

- 「友」インターネット速報 No.333  
東京小平RC週報

## ■ 出席報告

肥沼例会運営委員

| 在籍会員数 | 出席 | 免除 | 欠席 | 出席率   |
|-------|----|----|----|-------|
| 43    | 35 | 1  | 7  | 82.50 |

- 前々回メイクアップ修正後  
前々会欠席：3名



### ■ 前々回出席率

- メイクアップ修正後：92.50%

### ■ 前々会メイクアップ者：

- 金子会員：所沢中央RC
- 日時会員：地区研修委員会
- 竹田会員：地区協議会
- 漆原会員：地区協議会
- 中島会員：清瀬RC
- 野崎(一)会員：清瀬RC

## ■ ニコニコBOX

熊木クラブ管理委員

### ■ 皆出席：金子会員(8回目)



### ◆ 交通少年団山田団長：

本日はお招き頂きましてありがとうございます。よろしくお願いいたします。



- ◆ 田中会員：両澤先生いつもお世話になっております。今日を楽しみに待っていました。よろしくお願いいたします。

- ◆ 當麻会員：両澤先生、本日はよろしくお願いいたします。

- ◆ 溝井会員：戸澤様には毎度御送迎をして頂きましてありがとうございます。本来ならば、戸澤様に直接のお礼をしなければならぬと思いますが、私の財政上の問題でニコニコに替えさせていただきます。

### ◆ 樺澤会長、河野幹事：

両澤先生、本日は卓話よろしくお願いいたします。土方さんがお休みなのでかえって話し易かったりして…

- ◆ 當間会員：両澤先生お久しぶりです。本日の卓話よろしくお願いいたします。

- ◆ 土方会員：両澤先生、本日はお世話になります。お休みして申し訳ありません。卓話よろしくお願いいたします。

### ◆ 高橋会員、肥沼会員：

山田少年団団長お待ちしております。本日はよろしくお願いいたします。

本日のニコニコ合計： 22,000円  
累 計： 1,547,500円

## ■ 委員長報告

### ■ 當麻地区研修委員会委員

先日地区研修委員会が開かれました。今まで7回開催されています。地区運営に関する詳細を纏めたものを浅川ガバナーに手渡しました。クラブ情報委員会の名称を研修委員会とさせていただきます。1年間お世話になりました。



### ■ 野村国際奉仕委員長

世界大会あと1ヶ月と近づいて来ました。パスポートの期限の確認をお願いします。東村山から成田まで纏まって行こうと計画しています。今月末までに注意事項等をお渡しします。



### ■相羽クラブ管理委員長

次年度の活動方針事業計画、まだの方がいらっしゃいますので、早めにお願ひ致します。  
27日、28日いちまつさんにて  
18:30より炉辺会合よろしくお願ひします。



### ■神崎職業奉仕委員長

職業奉仕委員長として前回、事務局からの依頼の原稿お願ひしています。12名中2名頂ひています。残りの方は早めにお願ひ致します。



## ■卓話

東村山郷土研究会会長 両澤清様

### ■紹介者：野崎(征)パスト会長



東村山市には原始から近代まで、各時代を通して名だたる史跡や文化財が多い。それが市民の誇りでもあり、歴史愛好家の研究対象として話題を呼んでいる。



#### 1. 縄文人の生活の様子がわかる「下宅部遺跡」

狭山丘陵南麓から北川にかけて縄文・古代・中世にかけての遺物が、水中に埋まっていたため、当時の生活の様子がわかる有機質の遺物・遺構がそのまま出土し、話題となった。その一部を埋没保存し、「はっけんのもり」遺跡公園とした。(日本の歴史公園100選に選ばれる)

#### 2. 古代の道「東山道」が通り、瓦塔が出土する

国と国を結ぶ幅12メートルの官道「東山道武蔵路」跡が本町大踏切近くで発掘された。また、昭和の初め、多摩湖町から瓦製五重塔が出土し、東京帝室(東京国立)博物館に納められ、展示される。旅人の救護施設「悲田処」ができたという記録もある。

#### 3. 久米川は戦いと交通の要衝となり、久米川宿が栄える

新田義貞の鎌倉攻めをはじめ、数多くの戦いの戦場となった(久米川古戦場大正8年東京都旧跡に指定)。鎌倉道の幹道が通り、久米川は宿場として栄えた(日蓮上人も佐渡配流の時1泊した)。正福寺地藏堂(国宝)、徳蔵寺元弘の板碑(国重要文化財)、梅岩寺のケヤキ(都天然記念物)などの文化財が多い。

#### 4. 鷹の道、伊豆殿掘、新田など開発が進む

江戸期になって開拓が進み、まず旧村が拓け、後に大沼田新田、回田新田が開発された。承応年間には野火止用水も開削され、水車も稼動した。市域一帯は尾州家の鷹揚として、鷹の道が整備された。幕末には、農兵の訓練所もでき、武州一揆の時初めて実戦に使われた。

#### 5. 鉄道開通、貯水池竣工など近代化の波の中で、戦争に突入

明治22年野口・廻田・久米川・大岱・南秋津村の5か村が合併して東村山村が誕生。26年神奈川県から東京府に編入。

28年川越鉄道開通、久米川の駐車場ができる。現在の人口、約149000人。

民話の体裁の成否は別として、各村別に語られた主な民話を上げると次のようなものがある。

野口村 雨夜のきつねの嫁入  
化かされて御岳山まで  
赤いお月さん  
八坂神社のご神木  
ひとだまの話  
蛙の合戦  
きつねの報恩  
時宗様を助けた地藏様  
弁財天の鯉

久米川村 むじなの仇討ち  
かくれ座頭  
夜遊びの好きなおさる様  
動く鳥居  
ハケの観音様  
さらさらに追いかけられた話

廻り田村 たっちゃん池  
いんごう島  
狸とムジナ  
へびと菖蒲湯

大岱村 伊豆守と金右衛門  
恩多の後家通り  
呪いの釘

南秋津村 かっぱのわび証文  
嵐よけのお札  
片目の蛇  
花見道の由来  
柳瀬川の怪蛇  
秋津の雨ごい  
一木造の本堂  
夢を食う獺の話  
とんぼの宿り木

### ■点鐘：樺澤会長